

## 畜産クラスター事業の継続と予算の確保

政策提言先 農林水産省

### 政策提言の要旨

TPP11や日米貿易協定等の発効による影響に対応するため、畜産クラスター事業等の様々な対策が講じられ、規模拡大や生産性向上による生産基盤の強化が図られているところです。こうした中、近年、国内の畜産物の需要は堅調に推移しており、特に牛肉はさらなる増加が見込まれています。また、新型コロナ禍終息後にはインバウンド需要の回復など国産畜産物の需要拡大が見込まれます。

こうした需要の拡大に対応できるよう、地域の畜産関係者が一体となったクラスターの形成を一層強化し、産地の競争力をさらに高めていく必要があります。そのため、中山間地域等における畜産業の振興を図る取り組みに有効な畜産クラスター事業の継続と予算の確保を提言します。

### 【政策提言の具体的内容】

中山間地域等における畜産業の振興を図るために次の取り組みを提言します。

- 施設整備への支援に十分な予算を確保するとともに、建設用地の取得や造成までに数年の期間を要するため、少なくとも10年以上の事業継続
- 国内需要の拡大に対応できるよう経営体質を強化するため、作業の高度化や省力化に資する機械導入等への支援継続と十分な予算の確保
- 繁殖雌牛や乳用後継牛に対する増頭奨励金の継続と十分な予算の確保

### 【政策提言の理由】

- ・ 中山間地域が多い本県では、多様な雇用の場を創出するため、基幹産業となる畜産業の規模拡大や加工、流通販売などの関連企業が集積する「畜産クラスター」の形成に取り組んでおり、意欲ある生産者が畜産クラスター事業を活用して規模拡大や生産性向上を図るなどの成果が見えてまいりました。
- ・ こうした中、畜産物の国内需要は堅調に推移しており、特に牛肉は消費量が年々増加していますが、国内生産量が消費量を大きく下回っている状況です。さらに、高品質な国産畜産物を求めるインバウンド需要や輸出による海外市場の開拓も進んでいます。
- ・ こうした需要拡大に対応できるよう、小規模経営の多い本県畜産業においては、規模拡大による収益性の向上や、特色ある畜産物の生産によるブランド化に向けた取り組みを進めているところです。
- ・ 取り組みを進めていくうえで、規模拡大等に活用可能な畜産クラスター事業は農家の

評価も非常に高く、本県でも、四万十町（養豚）、梶原町（肉用牛）、大月町（養鶏）などにおいて産地の拠点となる大規模畜産施設の整備に活用させていただき、大変感謝しております。

- しかしながら、本県のような中山間地域の小規模な産地が、今後、持続的な畜産経営を実現していくためには、さらなる生産基盤の強化が必要ですが、新たな施設整備に必要な土地の取得や造成には、数年の期間を要します。
- 一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、和牛肉を中心とした需要の減少や価格の下落で国内畜産業は大きな影響を受けていますが、今後の需用の回復を見据え、施設整備による規模拡大に加え、省力化機械などの導入により、経営体質を強化することが必要です。
- 新たな食料・農業・農村基本計画に位置づけられている畜産の競争力強化の一環として、畜産クラスターの取り組みをより強力に推進するため、畜産クラスター事業の継続と十分な予算の確保が必要です。
- また、新しい担い手が規模拡大に取り組む中、令和2年度から措置された繁殖雌牛や乳用後継牛の増頭に対する奨励金が規模拡大の後押しとなっていることから、当該事業の継続と十分な予算の確保が必要です。

【高知県担当課】 農業振興部 畜産振興課